



阿見町 Shakyo Dayori

しゃきょう だより

第96号

【編集・発行】

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
平成24年1月27日発行

【事務局】

阿見町阿見4671-1
総合保健福祉会館(さわやかセンター)内
E-mail : fukushi@amishakyo.or.jp(代表)
U R L : <http://www.amishakyo.or.jp>
Tel . 029-887-0084
Fax . 029-887-9934

毎
年
生
ま
れ
集
ま
れ



平成24年

新年のご挨拶



阿見町社会福祉協議会会長 天田 富司男

新春を迎え、町民の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より社会福祉協議会に対しまして温かいご支援とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

少子高齢社会を迎えて、福祉を取り巻く状況も大きく変化しており家庭環境の変化に加え、生活意識の多様化が進んでおります。介護保険法の改正、障害者自立支援法の施行など、大きな制度改革が実施され、地域福祉への期待もますます高まっています。地域福祉を推進する中核的な役割を果たすために、本会の置かれている現状と課題、地域住民の意見・要望等を踏まえた事業計画を策定し、計画を効果的にすすめて参りたいと考えております。そして、地域の様々な生活課題に応えるため既存事業を見直し、また、町民の皆様に支持される新規事業を積極的に実施して参りました。

本年も「みんなで支えるやさしいまちづくり」に向け、地域福祉のますますの発展を目指し、福祉推進員制度やボランティアをはじめとするインフォーマルな社会資源の活用及び日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）等のさらなる充実を図るとともに、行政や関係機関と連携を密にし、社会福祉協議会役職員一丸となってより一層の努力を続けて参りますので、町民の皆様の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



社 協 事 業 紹 介

阿見町地域活動支援センター(委託事業)

阿見町地域活動支援センターでは、障害のある方々が通所して、生産活動、創作的活動、レクリエーション等の日中活動をされています。

平成24年4月1日からは、社会福祉協議会の自主事業“阿見町障害者支援センター”として生まれ変わります。



納涼祭で魚釣りゲーム
「釣れたよ!」(デイ班)



園芸作業でパンジー育て
(作業班)

高齢者生きがい活動支援通所事業(ミニデイサービス)

日中、家に閉じこもりがちな高齢者などがセンターに通所し、仲間同士の交流を深め、簡単な体操、レクリエーション、趣味活動などを行い、生き生きとした楽しい時間を過ごしていただくことで介護予防を目的としております。

●利用対象者

65歳以上で閉じこもりがちな方、虚弱な方
介護保険認定を受けて非該当になった方
介護保険認定を受けていない方
(ただし、自分の身の回りのことが出来る方)

●利用方法

阿見町社会福祉協議会にご相談ください。
【☎ 887-0084 担当 長沼(寛)・森川】



玄米ニギニギ体操



利用者さんの作品「辰」

古河ヤクルト販売(株)から福祉車両寄贈される

11月8日に「福祉ヤクルト活動」の一環として、古河ヤクルト販売株式会社様より福祉車両の寄贈を受けました。

贈呈式はさわやかセンターにて開催され、古河ヤクルト販売株式会社代表取締役社長の山浦博様をはじめ、ヤクルトレディの方々にもご出席をいただきました。今回いただいた車両は「みんなで支えるやさしいまちづくり」として、さらなる地域福祉向上のため、各事業での活動にて大切に使用させていただきます。

役職員一同、心より御礼申し上げます。



寄贈された福祉車両前にて
“ゴールデンキー”の贈呈

社 協 事 業 紹 介

介護教室受講生募集

今回は、高齢者に多い関節症についてのお話と、障害者へのサービスについてのお話です。
どうぞふるってご参加ください！

日 時	内 容	講 師
平成24年2月27日(月) 13:30～15:30	変形性膝関節症について	茨城県立医療大学付属病院 六崎 裕高 先生
平成24年3月6日(火) 13:30～15:30	障害者自立支援法について 阿見町の障害者サービス	つくば国際大学 山本 哲也 先生 阿見町障害福祉課

- ☆ 定 員 30名程度
- ☆ 参加対象 阿見町在住、在勤で介護について勉強したい方はどなたでもご参加いただけます。
- ☆ 参 加 費 無 料
- ☆ 会 場 総合保健福祉会館(さわやかセンター)
- ☆ 申し込み **平成24年2月17日(金)**までに電話にてお申し込みください。
阿見町地域包括支援センター ☎887-8124

ほのぼのレクリエーション

～“紫峰つくばね”を訪ねて～



平成23年10月20日(木)、おひとり暮らしの高齢者の
方々を対象に、筑波山へ出かけてきました。



お土産選びも
楽しみのひとつ

紅葉には少し早かったのですが、ロープウェイに乗って
展望台へ登り、名ガイドの説明を聞きながら関東平野の景
色を堪能することができました。再びロープウェイの空中
散歩を楽しんで山を下りた参加者のみなさんは、昼食に舌
鼓を打って温泉に入ったり買い物をした後、楽しかった1日を振り返りながら帰路に着かれ
ました。



展望台から「ヤッホー！」

を振り返りながら帰路に着かれ

行ってきました！

介護者交流会フレーザーパーク散策

～大輪のダリアの中で～



平成23年10月25日(火)に、
茨城県立フレーザーパークに行ってきました。

当日は暖かな行楽日和で、フレーザーパークの花々を眺めなが
らみんなでお弁当を食べ、日頃の介護についての情報交換やた
わいのないおしゃべりなどで気
分もリフレッシュできました。ダ
リアが満開で見頃を迎えており、
10月に入ってバラ祭りが開催さ
れ、秋のフレーザーパークに彩り
を添えていました。



花やおしゃべりで和気あいあい

地域ケア研修会のお知らせ

興味のある方ならどなたでも参加できます。

日時 平成24年2月25日(土) 10:00～
場所 総合保健福祉会館(さわやかセンター)

内容 「あなたの笑顔を守りたい」

～つながる・広がる・

口腔ケアにできること～

講師：摂食嚥下リハビリテーション

認定歯科衛生士

酒井ゆみ氏(11:45終了予定)

申込 阿見町社会福祉協議会 ☎887-0084
*2/22(水)までにお申し込み下さい。

社 協 事 業 紹 介

なかよし広場

善意銀行主催 障害児(者)レクリエーション『なかよし広場』を開催しました☆

10月29日(土) 素晴らしい秋晴れのお天気に恵まれて、真岡鉄道SL乗車と筑波山麓でのみかん狩りに出かけました。今年は参加者38名、役職員8名の計46名バス2台での和やかな雰囲気の旅となりました。

まず初めに、バスで真岡鉄道SLの始発駅である下館に向かいました。待ち時間の後、駅のホームにSLが汽笛を鳴らして白い煙をモクモクと上げながら入ってくると、みなさん心がワクワクしてきたようで、お子さんたちも大人の方も目を輝かせていました。

レトロな雰囲気漂う車両に乗り込み益子駅まで約50分の道のりを、忙しい日常からほんのひととき離れて、のんびりと過ごされていた様子でした。

午後は桜川市真壁町でのみかん狩りを楽しんでいただきました。まだ少し時期が早いようでしたが、すっぱさのなかにもみかん本来の味がしっかりと残るおいしいみかんを味わうことができたと思います。みなさんハサミを片手においしそうなみかんをおみやげに真剣に選んでいました。

阿見町社会福祉協議会善意銀行では、参加されるみなさまの思い出に残るような行事をこれからも企画していきたいと思います。



真岡鉄道SL 迫力満点!!



みかん畑から見下ろす景色もとてもきれいでした。

歳末ふれあい交流会

親子で過ごすたのしいひととき

12月17日(土) この時期らしい寒さではありましたが、素晴らしい快晴に恵まれて、300名を超える親子のみなさまにご参加をいただきました。

オープニングはジャパンスカイダイビングクラブのご協力のもと、毎年恒例となった『空からサンタがやってくる』のセレモニーが行われました。サンタクローズがスカイダイビングで空から降下してくると、子どもたちは目を輝かせながら駆け寄って行き、プレゼントを受け取っていました。

屋内では、2012年カレンダーづくり・おかいものゲームのコーナーやわたあめ・中華まん・フランクフルトの配布をしました。屋外ではロードトレインが運行し、「少しでも子どもさん達を楽しませたい!」との一心で社協スタッフが苦心のもと作り上げたトンネルをくぐり、たくさんの親子の笑顔に乗せて走りました。

来年度も子どもたちの輝く笑顔に会えるよう、楽しい企画をしていきたいと思います。



空からサンタ。
みんなのもとへ降下中!



トンネルを抜けたら
ほら、みんな笑顔!

ファミリー・サポート事業

会員制の助け合いひまわりサービス

このサービスは、安心して子どもを育てる環境づくりと女性の社会参加を支援するため、“たすけあいの心”を持った地域の人々の協力で行う会員方式による有料のサービスです。出産時の家事および育児援助や、親が外出時の子どもの世話、乳幼児の通園、小学校6年生までのお子さんの登下校送迎その他子育てに関する支援を行っています。

「利用会員」「協力会員」とともに会員登録制になっていますので、ご利用したい方はお気軽にお問い合わせください。

利用時間 利用料金	利用時間	料 金	問い合わせ
	午前7時～午後9時	1時間 800円	887-0084

協力会員募集

ほんの少しの時間を、育児・子育て支援のために使ってみませんか?



協力会員の研修会で、クリスマス用アレンジメントを作りました。どれもみんな力作で、素晴らしい出来映えでした!



ありがとう
コーナー

阿見町善意銀行

温かい心をお寄せくださった方々

平成23年10月1日～平成23年12月31日

(敬称略)

有限会社 佐藤農園	5,000円	株式会社ヒュリカ	10,000円
匿名	玄米 50kg	広川 嘉子	玄米 30kg
匿名	2,000円	平賀 訓	切手 80円、50円×37枚 41円×7枚
大崎 結衣	4,502円	阿見町民生委員児童委員協議会旅行委員会	1,457円
藤平 徳治	50,000円	上郷区	6,330円
茨城県退職公務員連盟稲敷支部阿見班	タオル236本、化粧石鹸5個 洗濯洗剤2箱他	阿見町図書館	30,349円
安田 義雄	リハビリパンツ オムツ	(株)美都住建 (有)美都和協力会	30,000円
匿名	2,000円	茨城県みなみ農業共済組合チャリティーゴルフ大会実行委員会	5,630円
岩田 三郎	切手80円×50枚 50円×40枚		
桂子	1,800円		

さわやかフェア2011より

(敬称略)

阿見町民生委員児童委員協議会	323,197円	阿見町農業委員会	60,000円
輪道会	93,614円	阿見町更生保護女性の会	21,400円
社協 スーパーボール	5,710円	阿見町国際交流協会	10,000円
阿見たばこ作振興会	10,000円	阿見ライオンズクラブ	33,010円
阿見町そば打ち同好会	10,000円	阿見町食生活改善推進協議会	5,000円
		合 計	571,931円

さわやかフェア2011
(10月23日)にて

愛の募金箱



福祉バザー
(民生委員児童委員協議会)



ライオンズチャリティー!

町善意銀行では、各事業所、施設等に愛の募金箱の設置を依頼し多くの方々よりご協力いただきました。
これらの募金は、社会福祉への総参加による事業推進の資金源として活用させていただいております。

(順不同・敬称略)

予科練平和記念館	阿見中学校	阿見青宿郵便局	吉原小学校
阿見第二小学校	阿見町役場 秘書課	学校法人霞ヶ浦高等学校	実穀小学校
特別養護老人ホーム 阿見翔裕園	阿見町役場 会計課	茨城県自動車学校土浦校	茨城県立霞ヶ浦聾学校
楽生	阿見小学校	福祉センターまほろば	阿見ゴルフ練習所
阿見郵便局	阿見中央一郵便局	竹来中学校	朝日中学校
原理容室	阿見第一小学校	舟島小学校	本郷小学校
キリン協和フーズ(株)土浦工場	(有)カワサキスタジオ	舟島ふれあいセンター	本郷ふれあいセンター
霞ヶ浦薬剤センター薬局	阿見第一クリニック	君原小学校	常陽銀行(株)荒川沖東支店
三菱化学(株)筑波総合研究所	マイアミショッピングセンター	君原公民館	うずら出張所
フタムラ化学(株)茨城工場	町民活動センター	ココストア阿見中央店	阿見中央公民館
筑波銀行(株)阿見支店	水戸信用金庫 阿見支店	理想科学工業(株)筑波工場	ケアセンター阿見
JA茨城かすみ阿見支店	かすみ公民館	(株)ツムラ茨城工場	社会福祉協議会
		合 計	198,728円

ぼらんていあ

ボランティア連絡会視察研修に参加して

11月10日～11日、今年は3月11日の東日本大震災による大津波で、大きな被害を受けた県内の地域を応援しようと北茨城市に行ってきました。参加者は25名でした。

車窓から市内をながめながら、バスは一路大津港方面に立ち寄り、そこには今でも船が数多く置き去りにされ、アスファルトが幾重にもめくりあがり重なり合って、地震による恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

研修のメインは、北茨城市ボランティアの久保田三枝子さんを講師に招き、3月11日の大地震の時に地域のキーパーソンとして、消防団・漁協・小学校等の間に立って、今回の大地震を乗り切った経験談を伺いました。当時の写真等もたくさん見せていただきました。

津波が住宅まで押し寄せてくる写真を見て、自然の恐ろしさを改めて感じました。久保田さんは、震災で、誰が指示することなく皆で声をかけあい、町の人が一丸となり、子ども達も避難所の中で様々な役割を担う等、家族や地域の助け合いや身近な日常的な人のつながりの重要性を私たちに教えてくれ、さらに横のつながりや絆が得られたと話しておられました。一日も早い復興をお祈り致します。今回の視察で、北茨城市を少しでも応援出来たかとの思いと、私たちも自分の地域を改めて見直し、学んだことを生かしていきたいと思いました。

阿見朗読の会 折井侑子



久保田三枝子さんのお話を聞く
(五浦観光ホテルにて)

さわやかフェア2011にて

輪道会

10月22日(土)にかすみ公民館で、1年間手間をかけて作った品物を持って集合し、23日のバザーに向けて値付けをしました。高過ぎないように、安過ぎないように、みんなと相談しながらワイワイ値段を付けました。袋物、ポプリ、ドライフラワー、チョコ袋、ツリー、パッチワークのバッグ、編みぐるみの動物、ブローチ各種、編み物のセーター・帽子・ソックス、かざり物の細工等……。それに、サークル外の方々からの心のこもった作品を頂戴し、本当に助かりました。これらの数えきれない品物は丁寧に箱に詰めて会場に運びました。当日は、心配していた雨も上がり、運び込んだ品物もきれいに並べました。自分で作った物が売れると、ひそかににんまりとしたものでした。終了時間の3時までに完売して手締めをしました。ありがとうございました。



さわやかフェアにて(輪道会)

県南ブロックボランティア活動研究集会

阿見緑の会
石川泰子

11月25日(土)つくば市庁舎に於いて、講師に西村ミチ江先生をお迎えして講演会が行われました。その後5グループに分かれての分科会と、4時間30分余りの長時間の集会でした。

先生は塙山地区(日立市)での29年間の活動を通して、イベント型の活動から、365日型の日常型活動へと転換し、今も続けておられます。街作りの第一歩として「誰もが自分の住む町に関心を持つこと」が重要と話されました。

365日休むことなく住民のニーズに応じていくには、アンケートの実施をし、要望があればそれにどう動けば応えられるかなど、こまめに計画し実施すること。そのためには多くの方を巻き込み地域を愛する心を育てることが大切ではないかとのことでした。家族の支えや、仲間の支えなど先生の日ごろの活動は多岐にわたり大変感銘いたしました。



ぼらんていあ体験リレー

ボーイスカウト阿見第1団カブ隊 小峰 茂

私はボーイスカウト阿見第1団でカブスカウト隊の隊長をしています。カブ隊のモットーは「いつも元気」です。総合運動公園やふれあいの森で、元気いっぱいスカウト(小学生)と一緒に走り回っています。女の子も参加していますよ。

東日本大震災復興支援の募金活動のボランティアをしました。たくさんの方にご協力いただきました、ありがとうございました。荒川本郷のスーパーの前でのぼり竿を立て、スカウトと一緒に大きな声で募金を呼びかけました。みなさんから「募金、頑張ってください!」と励まされたりもしました。手作りののぼり竿には感動しました。「絆」や「がんばろう!日本」、スカウトからの温かいメッセージがいっぱい書き込んであったからです。

誰に言われたわけでもなく、スカウトが自分らのポケットから小銭を取り出し募金箱へ入れていました。その時のスカウトの笑顔は忘れえません。ふれあいの森で走っている時とは違う、何かをやりきったという満足げな笑顔でした。

カブ隊長の役はボランティアで引き受けていますが、いつも逆にスカウトたちから元気と感動をもらっています。

第4回傾聴ボランティア講座 ～寄り添ってボランティア～

日 時 平成24年2月24日(金)
(受付17:30 開会17:45～閉会20:15)

場 所 町総合保健福祉会館(さわやかセンター)
2F大会議室

対 象 町内在住、在勤者

募集人数 30名(先着順)

内 容 演 題 「援助のイメージ
～聴くことの大切さ～」

講 師 茨城カウンセリングセンター
主任カウンセラー 大築明生氏

参 加 料 無 料

申込方法 下記へ電話、または直接申し込む

申込締切 平成24年2月10日(金)
【定員に満たない場合は受付可】

問い合わせ 阿見町社会福祉協議会 地域福祉係 酒井・鈴木
☎ 887-0084

新入学児童・生徒への入学祝金贈呈

平成24年4月小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に、入学祝金を贈呈します。

対 象 者 ひとり親世帯(母子・父子世帯)、
要保護・準要保護世帯、交通遺児等
両親のいない子の世帯の各世帯の
平成24年4月新入学児童・生徒

申請方法 対象者の保護者の方は、
事務局(さわやかセンター内)の窓口で、
申請の手続きをお願いします。

申請期間 平成24年1月27日(金)から2月24日(金)

支給日 平成24年3月5日(月)から

問い合わせ 町社会福祉協議会 地域福祉係 酒井
☎ 887-0084



使用済み(古切手・テレカ・プリペイドカード) 書き損じ葉書収集

たくさんの切手、テレカをありがとうございます。

平成23年10月1日～12月31日 (敬称略)

西見会	上野千恵子	(有)カワサキスタジオ
(株)汎用	役場社会福祉課	高橋和代
石井勝子	理想科学工業(株) 筑波工場	植木よし子
フタムラ化学(株)	宮下会計事務所	セブンイレブン土浦 右粉宮塚店
茨城県退職公務員連盟 稲敷支部阿見班	相原正幸	谷 園枝
安相賢二	島田芳子	土浦電設(株)
匿名	本間由里子	竹来中学校
うずら出張所	社会福祉協議会	匿名

ひとり親世帯 親子ハイキング 参加者募集

バス遠足です。トイレ付でお子さまも安心♪

日 時 平成24年3月3日(土)
さわやかセンター集合解散
8:30出発(集合8:20)17:00解散予定

行 先 神奈川県川崎市方面
(藤子・F・不二雄ミュージアム他)

対 象 者 阿見町在住のひとり親世帯、及びその祖父母
70名 定員になり次第締め切り

募集人数 一世帯2,000円(当日集金)

参 加 費 ★入場券・昼食含む
※付添追加1名につき別途2,000円集金

申込方法 電話又は直接下記まで申し込み

申込期間 平成24年1月27日(金)
～2月17日(金)

申込問合せ 社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
☎ 887-0084
担 当 地域福祉係 酒井・稲葉



●● 総合相談 ●●

【心配ごと相談】

- ◆相談日 毎週水曜日
- ◆時 間 午後1時～4時(受付3時30分まで)
- ◆場 所 総合保健福祉会館

※弁護士相談 月1回(毎週水曜日の心配ごと相談にて要予約)

- ◆相談日 毎月第1水曜日
- ◆時 間 午後1時～3時30分

【結婚相談】

- ◆相談日 第2・第4土曜日
- ◆時 間 午後1時～4時(受付3時30分まで)
- ◆場 所 総合保健福祉会館

【福祉相談】 【介護相談】 【ボランティア相談】

常時受け付けています。それぞれ担当者が親身になって
相談にのっております。どうぞお気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 ☎ 887-0084

編集者の ひとりごと



平成23年は大地震・
大津波に始まり、年が明
けても今だに放射能の恐
怖にさらされています。

震災以降、ボランティ
アの活躍が報道されていますが、放射能の除染作業
のボランティアに関しては、疑問が残るところです。
軽装で出来ることではない。全く影響がないとは言
えない。ボランティア活動保険では放射線被ばくは
補償されない。等々……。ボランティアの思いの
強さが、裏切られなければいいと思いつつ、被災
地にボランティアを送り出しているコーディネー
ターとしては、とても複雑な思いです。

昨年しゃきょうだよりの新年号に、“やさしい年”
になるといいですね!と書きましたが、やさしいど
ころか荒々しい年になってしまいました。今年こ
そ!と言いたいところですが、今年は、“普通の年”
でいいです。

穏やかな1年を過ごせますように・・・特に、被
災された皆様が1日も早くふつうの生活に戻れます
ように。